

農業振興部公共事業等評価シート

NO	西山-1
----	------

事業名	地域ため池総合整備事業	地区名	西山	市町村名	室戸市
事業期間	平成24年度～28年度	事業主体	高知県		
総事業費	300,000千円	負担割合	(国)55% (県)35% (室戸市)10%		

◇ 事業概要（目的及び内容の説明）

① 対象者（受益者）

かんがい面積14.9ha、かんがい農家戸数24戸、洪水被害農地面積12.8ha、洪水被害農家戸数11戸
 農業以外の洪水被害
 国道、集会所

② 目的

西山地区の38池のうち、堤体等からの漏水や変形などの兆候が顕著であり、改修の緊急性の高い3池について対策を講じることにより、集中豪雨等によるため池決壊等の災害を未然に防止し、農用地や農業用施設等の保全を図る。

③ 整備手法

工種	事業量	事業内容	事業費(千円)
ため池改修	3箇所	中尾上池 ; 堤高5.5m、堤長85.0m 洪水吐(1.95m×1.20m) 底樋管(φ300mm、L=19.5m) 斜樋管(φ250mm、L=4.2m) 緊急放流(φ150mm)	80,000
	中尾上池 長野2号池 悪坂池	長野2号池 ; 堤高8.6m、堤長38.0m 洪水吐(1.80m×2.30m) 底樋管(φ300mm、L=42.3m) 斜樋管(φ250mm、L=10.2m) 緊急放流(φ150mm)	120,000
		悪坂池 ; 堤高8.8m、堤長27.0m 洪水吐(1.85m×2.50m) 底樋管(φ300mm、L=41.06m) 斜樋管(φ250mm、L=10.6m) 緊急放流(φ150mm)	100,000
計			300,000

1 対象者とそのニーズの説明

①事業の対象者（地域あるいは受益者）が、現状でどのような問題や課題を持ち、それをどんな状態に改善する必要があるのか

室戸市は、平成18年に地域防災計画を策定し、平成23年4月現在の自主防災組織数=88、（西山地区1組織）組織率=97.5%となっている。防災訓練や防災備品の購入なども進めており地域住民の防災意識が非常に高い地域である。

「室戸市の地域防災計画」には、水害等から地域を守るための課題が掲げられており、本事業はこの課題に沿った対策工事である。

②その問題を生じている原因は何か、課題を解決するために必要な条件は何か

・ため池の決壊防止

西山地区を流下する西二又谷川、法師谷川の上流に位置する中尾上池、長野2号池、悪坂池は、老朽化に伴う漏水量が改修検討の目安となる60L/min/100mを超えており、また洪水吐も未整備であり通水能力が不足している。

このため安全性を確保する構造に改修を行う。

③課題解決をしなかった場合、どのような影響があるのか

- ・下流への影響
 - ・下流域の被害想定額は522,165千円である。
 - ・下流域の住宅や耕地が流失や埋没し、国道55号線を土石流が襲うこととなり、県中央部と東部を結ぶ基幹的な交通手段が使用不能となる。また、時間帯によっては多数の人的被害も考えられ、地域住民にとどまらず県民生活に多大な影響を及ぼすこととなる。

受益を含む被害範囲の面積

住家	農業用施設	公共施設		農作物	
	農道	国道	公共建物	水稻	畑作物
11戸	340m	420m	3戸	3.2ha	8.8ha

- ・農業への影響
 - ・漏水により渇水期には用水が不足する。
 - ・本地区の営農は、ため池からの用水供給に頼っており、被災した場合は受益地へのかんがい用水の供給が不可能となる。

2 整備手法の選択理由

①ニーズや課題解決に対し、これまで、どのような対策を講じてきたか。

- ・地域住民は、当該ため池の維持補修（草刈りや軽微な修繕）を共同で行うとともに、西山自主防災組織（H.11設立）を中心にして定期的な勉強会や防災訓練などを行ってきたが、この活動のなかで、ため池の根本的な改修工事を望む声が高まっている。

②この事業の整備手法が、ニーズにどのように適合しているか（原因や必要条件との関連性）

- ・ため池を改修することで、ため池の決壊時の災害を未然に防止し、下流域の安全を確保する。

③他に考えられる整備手法より、この手法が優れていると考えている理由（複数の選択肢との比較検討。なお、比較検討の際にはランニングコストも含むこと）

・堤体工

検討項目	当該整備手法	他の整備手法
底樋の改修	推進工法により、必要最小限の堤体掘削に留めることにより、工事費の軽減・工期の短縮が可能である	堤体全体を開削する必要があるため、掘削土量が多く、掘削後は再び盛土作業が必要となるため、工事費・工期が増加する
判定	○	△

3 事業の全体コストの把握

① 投資額（ランニングコストを含む）に対する費用対効果

	総費用	総便益額	総費用総便益比
中尾上池	84,240	97,035	1.15
長野2号池	112,625	372,709	1.77
悪坂池	97,591		
計	294,456	469,744	1.59

総便益額 (B) 総費用 (C) 投資効率 (B/C)
 469,744千円 ÷ 294,456千円 = 1.59

②事業主体の負担額及び対象者（受益者）の負担額の妥当性

	負担率(%)	負担金額(千円)
国	55	165,000
県	35	105,000
市	10	30,000
合計	100	300,000

※受益者負担なし

- ・計画的な財政負担が可能か
 室戸市の負担については、必要な投資として了解を得ている

4 目標水準（地域構想あるいは営農計画等）の設定 [完了後おおむね5年以内での目標を想定]

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市の地域防災計画に掲げられた水害から地域を守る。 ・西山地区は、干両・茄子を主とする施設園芸や甘藷の栽培が盛んに行われている。県東部でも有数の農業地帯である西山地区において、安定した農業生産活動の維持発展を行う。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・大型台風や集中豪雨等によるため池決壊の防止は、多くのため池を有する西山地区において、非常に重要な課題である。西山地区は、農業に適した地形と気候に恵まれているが、この課題が地域の発展を妨げつつある。

5 その他（事業を推進するために必要な法令上の許認可手続き（地元の同意状況を含む）や課題等）

地元の同意は十分にとれる見込みである。